

Nexus D7500 D750

取扱説明書〔カメラ編〕 V1.5

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書〔カメラ編〕並びに別冊子〔ハウジング本体編〕をよくお読みください。Nexus ハウジングを安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。お読みになった後も大切に保管してください。カメラをハウジングにセットしたら、水中で使用される前に必ず、全ての操作部が確実に操作できることを確認してください。

取扱説明書で使用している画像やイラストは、実際の商品とは異なる場合があります。

a n t h i s

目 次

パッケージ内容の確認	1
ユーザー登録	1
必ずお読みください	1
保証書について	1
各部の名称と主な機能	2~5
主な仕様	5
セッティングの基本	
1 カメラの準備	6
2 カメラのセット	6
3 測光モードボタンの操作と解除	7
4 露出補正ボタンの操作と解除	7
5 光接続	8~9
6 電気接続	10
補足説明	
• レンズ取り外しボタンの機能を止める	11
• AF モードボタンを BKT ボタンに変更する	11

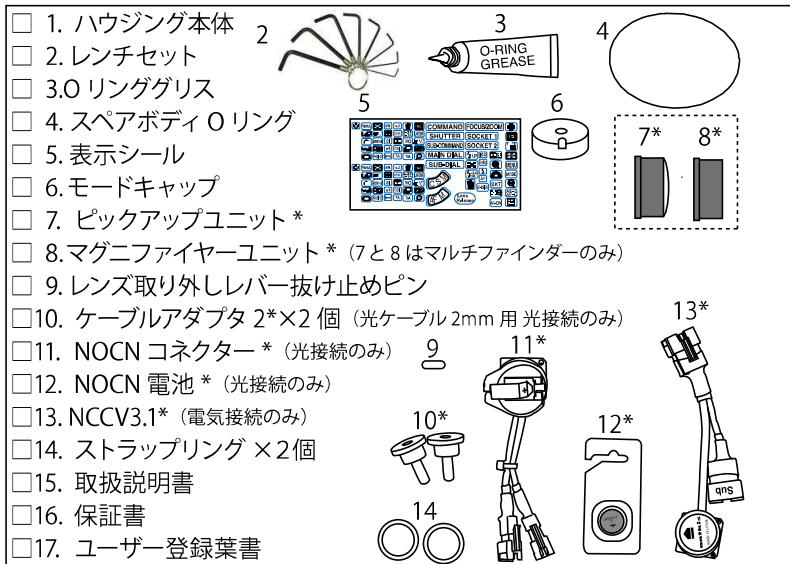
本製品は、ニコン D750 カメラを収容できる防水耐圧ハウジングで、水深 75m までの圧力に耐えられます。

Nexus D7500D750 をお使いになる前に

この度は、Nexus D7500D750 をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、以下のことを行ってください。

● パッケージ内容の確認

以下のものが、パッケージに含まれているか確認してください。



⚠ 注意
パッケージ内容に誤りのある場合は下記へご連絡ください。
(有)アンティス 〒444-2137 愛知県岡崎市藪田 1-16-1
☎ 0564-25-3937

● ユーザー登録

ユーザー登録葉書は必要事項を記入して、必ず投函してください。
この葉書によってお客様は本製品のユーザーとして登録されます。

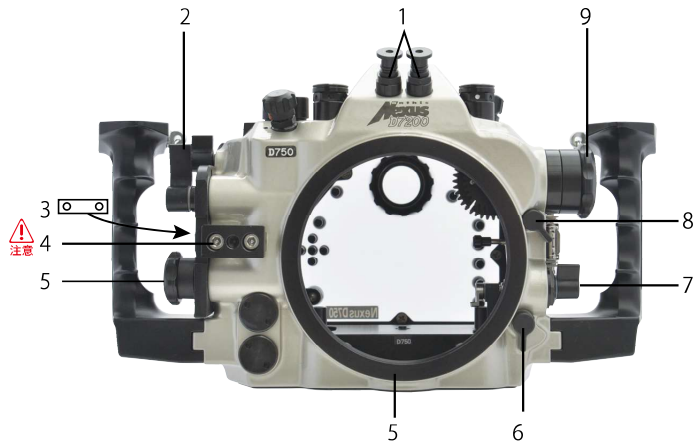
必ずお読みください


- 安全にご使用いただくために取扱上の注意は大変重要です。よくお読みになり十分ご理解されてから、ご使用されることをお願いいたします。
- 潜降を始める前に浅いところで、水漏れがないか、正常に操作できるか必ず確認してください。
- 水漏れ事故を起こした場合のハウジングやカメラ、レンズの損害、撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- ハウジングやカメラ、レンズの為の保険『アンティスセイフティプラン』をご用意しております。ご質問やご希望のある方は、別紙連絡先へお問い合わせください。

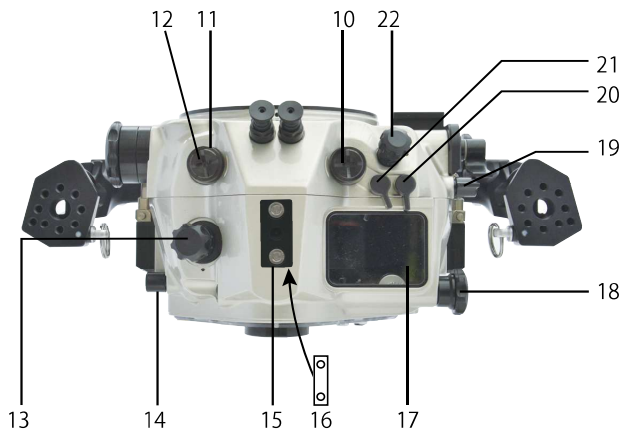
保証書について

- 保証規定をよくお読みください。
- 期間はご購入日より1年間で日本国内のみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。大切に保管してください。

各部の名称と主な機能



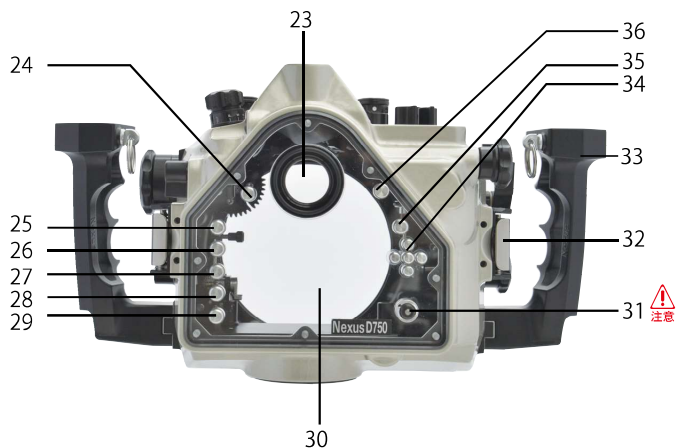
- 1 光ソケット1・2 (光接続 選択機能)
ケーブルアダプタ (付属品パッケージ内の10) を差込み、光ケーブルを接続します。(▶本書 P8_光接続参照)
- 2 シャッターレバー
手前に引いてシャッターボタンを操作します。
- 3 防触亜鉛プレート
意図しない腐蝕を防ぐためにボディとTスライドベースの間に挟み込まれています。
- 4 Tスライドベース 
Nexus アーム (別売品) などのアクセサリが取り付けられます。
外径の大きいフィッシュアイポートなどを取り付ける場合は外してください。防水機能が失われます。
- 5 サブコマンドノブ
サブコマンドダイヤルを操作します。ノブを回して各種設定を行います。
- 6 Oリング接触面
ポートのベースOリングがあたる面で防水に重要な箇所です。傷、ホコリなどを防ぐために移動、運搬、保管の際はボディーキャップ (別売品) で保護してください。
- 7 フォーカスモードセレクトレバー
フォーカスモードセクターを操作します。(本体編▶P5)
- 8 レンズ取り外しレバー
レンズ取り外しボタンを操作します。必要に応じて機能を止めることができます。(本書▶P11_機能を止める参照)
- 9 AFモードボタンレバー
AFモードボタン(標準機能)あるいは、BKTボタン(オプション)を操作します。
(▶P19_AFモードボタンをBKTボタンに変更する参照)
- 10 フォーカス/ズームノブ
単焦点レンズのマニュアルフォーカス操作をします。ズームレンズでは、ズーム操作をします。レンズに合ったギアを選び取り付けてください。




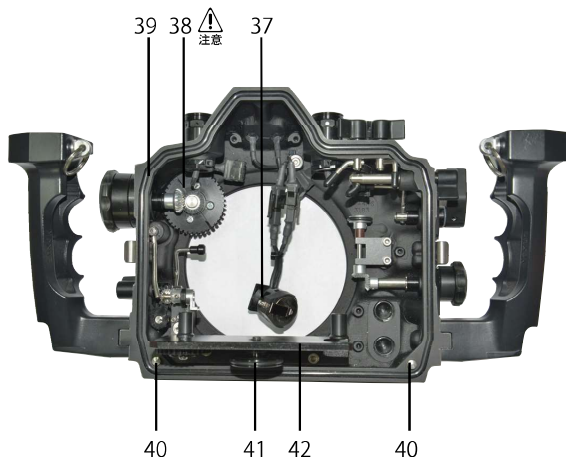
- 10 電気ソケット 1 (電気接続 選択機能)
ニコノス型 5 ピン対応ストロボ同調ソケットです。5 ピン端子の接続は、ピンの配置に注意してシンクロコードを差し込んでください。
(▶本書 P10)
- 11 電気ソケット 2 (電気接続 選択機能)
2 灯めのニコノス型 5 ピン対応ストロボ同調ソケットです。
- 12 シンクロキャップ
ソケット内部を保護するキャップです。シンクロコードを接続する時以外は外さないでください。
- 13 撮影モードノブ
撮影モードダイヤルを操作し、モードの切り換えをします。カメラにモードキャップ (P1 パッケージ内容の 6) が必要です。(▶本体編 P2)
- 14 再生レバー
再生ボタンを操作します。
- 15 T スライドベース
- 16 防触亜鉛シート
- 17 LCD ウィンドウ
表示パネルの情報を見る窓です。
- 18 メインコマンドノブ
メインコマンドダイヤルを操作します。ノブを回して各種設定を行います。
- 19 動画撮影レバー
動画撮影ボタンを操作します。
- 20 露出補正レバー
露出補正 / ツーボタンリセットボタンを操作します
- 21 測光モードレバー
測光モード / フォーマットボタンを操作します。
- 22 電源スイッチ
カメラ電源の ON/OFF を操作します。表示パネルの照明は操作できますが、スムーズではありません。(本体編▶P6)



注意
キャップが外しにくい場合はコイン等で緩めてください。反対にコイン等で締めるときは締め過ぎに注意してください。行き止まりまで締めたら、ほんの少し戻してください。



- 23 ファインダー
ノーマルとマルチから選択できます。別売品の Nexus ファインダーも使用できます。
- 24 削除ボタン
- 25 メニューボタン
- 26 ヘルプ / プロテクト / ホワイト balan ボタン
- 27 拡大表示 / 画質モード / 画質サイズボタン
- 28 縮小 / サムネイル表示 / ISO 感度自動制御 / ツーボタンリセットボタン
- 29 i ボタン
- 30 モニターウインドウ
見やすい大型のウインドウは Nexus の特長です。大きな視認性を持ち液晶モニターを確実にサポートします。
- 31 Lv ボタン 
レバーを回して静止画 / 動画の選択をします。カメラセット時にカメラの指標とレバーの指標を合わせてください。中央の黒いボタン押しでライブビューの ON/OFF を操作します。（本体編▶P7）
- 32 ラッチ
左右 2 箇所のでフロントボディーとリアボディーを固定します。ボディを開閉する際は、必ず左右同時に行ってください。
- 33 グリップ
スクリュー 1 本で簡単に着脱できます。上面には Nexus アームなどのアクセサリを取り付けるためのネジ穴が設けてあります。
- 34 マルチセクターボタン
マルチセクターの 4 方向と中央の OK ボタンを操作します。
- 35 インフォボタン
- 36 AE/AF ロックボタン



37 NOCN V1.1 (光接続のみ)

カメラのアクセサリシューに取り付け、光ソケット内側のLEDケーブルの
 コネクタ部と接続します。(▶P14_光接続参照)
 電気接続の場合は、NCCV V3.1を取り付けます。(▶P15_電気接続参照)

38 2モードギア

標準の40モードと大口径対応の30モードの2段構造になっています。
 モードは使用するレンズに応じて設定します。(本体編▶P13)



AF-S VR

105mm F2.8

レンズを使用

する場合は、

カメラをセット

する前にモード

の変更が必要

です。大口

径のため

フォーカスア

イドラグと干

渉して正しい

位置に納まり

ません。

39 ボディ O リング

密閉性や防水性を確保します。取り扱いによっては防水機能を損なう場合
 があります。(▶本体編 P21～P22_O リングの取り扱い参照)

40 ボディノックピン

フロントとリアボディの合わせガイドです。左右にあります。

41 カメラホルドスクリュー

カメラを固定するネジです。三脚ネジ穴に取り付け、簡単にカメラの着脱が
 できます。

42 ベースプレート

カメラを正確に位置決めします。カメラ、レンズからの振動を確実に受け止
 めます。カメラをセットしたままバッテリー交換ができます。裏面には、2
 モードギア(写真 36)のカバーを保管するホルダーが備わっています。
 (▶本体編 P13_カバーギアホルダーの使い方参照)

■主な仕様

適応カメラ：ニコン D750

主な材質：耐蝕アルミ合金 casting

寸法：(W×H×D) 約 317×175×138mm

重量：約 2,122g (ハウジング+グリップ) 陸上

実用耐水深：75m

1 カメラの準備

- 1 コマ撮影や連続撮影など、リリースモードを選択します。フォーカスポイントロックレバーのロックを解除します。詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

2 カメラのセット

カメラをセットする際は、

- 2-1 電源を OFF にしてください。
- 2-2 内部の部品が邪魔にならないようにします。
 - ①動画撮影アームをはさみ込まないように先端を上に向けます。
 - ②測光モード、露出補正レバーは右に回してアームの先端がボタンに接触しないようにします。

☞ 図-1

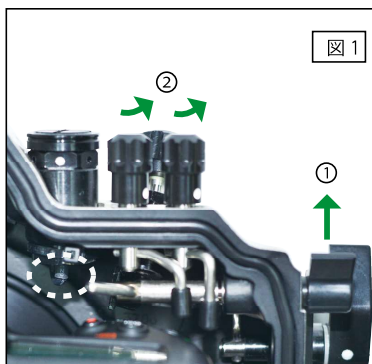
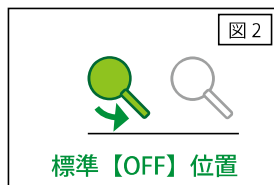


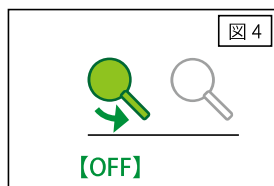
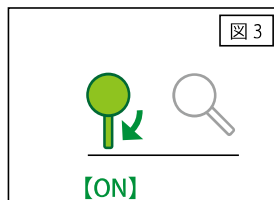
図 1

3 測光モードボタンの操作と解除

- 3-1 レバーを正面にセットして測光モードボタンを押し込みます。レバーが正面にある間は ON の状態が維持されます。☞図 3

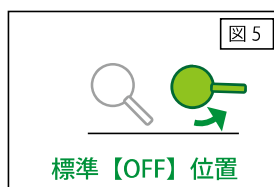


- 3-2 ボタンを放す場合は、レバーを右側に回します。☞図 4
操作時以外は、誤作動を避けるために、アームの先端をボタンから離しておいてください。☞図 2

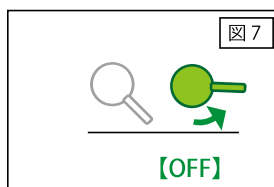
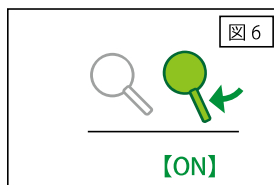


4 露出補正ボタンの操作と解除

- 4-1 レバーを正面にセットして露出補正ボタンを押し込みます。レバーが正面にある間は ON の状態が維持されます。☞図 6



- 4-2 ボタンを放す場合は、レバーを右側に回します。☞図 7
操作時以外は、誤作動を避けるために、アームの先端をボタンから離しておいてください。☞図 5



5 光接続 ストロボを光ケーブルで接続する

- 5-1 ケーブルアダプタの取り付け。
光ケーブルを差込む前に、不用意に光ケーブルが外れないよう、光ソケットのプラグに付属品のケーブルアダプタを差込みます。☞図 8



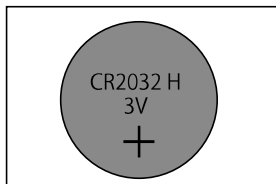
標準は、2mm ケーブル用です。ケーブルアダプタは差込むとロックされます。この状態でアダプタを回したり、引き抜いたりしないでください。プラグ内で切断され、外せなくなる場合があります。



ケーブルアダプタの取り外しは、プラグの口元を爪あるいはプラスチックのヘラなど堅い物で押して、ロックを解除してから引き抜いてください。☞図 9

- 5-2 NOCN コネクターに電池 (CR-2032) をセットします。+を上にして、モデルシール側から電池ボックスにセットしてください。

※電池ボックスとヘッドの接着部分に力が加わらないように注意してください。断線の原因となります。



- 5-3 光ソケット内側の LED ケーブルと NOCN のコネクターを接続します。☞図 -10
カチッと音がするところまで挿入します。コネクターに区別はありませんが、ケーブルをねじったり、引っ張ったりする事は避けてください。



取り外しはリリースレバーを軽く押しながらコネクターを抜いてください。ケーブルを持って引っ張ると無理な力が加わり、断線するおそれがあります。

- 1-4 NOCN コネクタをカメラに接続します。
カメラに手を添え、アクセサリシューの奥まで確実に差し込みます。不確実な接続は、ストロボの作動不良の原因となります。☞図-10



使用上の注意

▶電池寿命

- 頻度によって異なりますが、5000 シャッターまたは1年をめどに交換されることをおすすめします。参考値です。電池メーカー、種類等により差が出る場合があります。

▶ストロボ側設定

- プリ発光キャンセル機能はOFF にしてください。

▶ストロボが光らない場合の対応

- 電池残量が十分か確認→電池電圧 2.90V 以上を推奨
- ストロボ側コネクタ部に汚れがないか確認。
- 光ケーブル差し込み口の防水レンズの汚れ。ケーブルアダプターを外し、濡らした綿棒等で拭き取る。
- 光ケーブルの断線、先端折れ曲り、ひび割れ、曇りがないか確認。
- 光ケーブルの断面がきれいに切断されているか。ニッパー等での切断は不可。断面が不揃いのため精度が落ちる。
- LEDと光ケーブルの芯にずれがないか。光ソケット内部のLEDが奥まで真っすぐに入っているか。光ケーブルが一番奥まで入っているか。

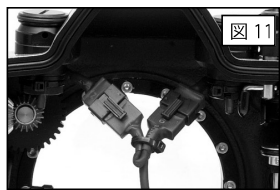
電気接続 ストロボを5ピン端子のシンクロコードで接続する

- 1-1 NCCV3.1 を電気ソケット内側のコネクタに接続します。☞図-11

カチッと音がするまで確実に接続してください。コネクタには「メイン」「サブ」の区別があり、メインコネクタを接続したソケットがメインソケットで、i-TTL 調光対応のストロボでは、TTL 調光が可能です。これ以外のストロボでは、X 同調のみ可能です。

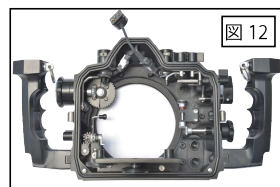
サブソケットは X 同調のみです。

ストロボが 1 灯の場合は、メインソケットに接続してください。



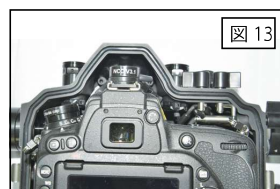
取り外しは、リリースレバーを軽く押しながら、コネクタを抜いてください。

- 1-2 NCCV3.1 をハウジングの外に出し、レンズに注意しながら、ゆっくりカメラを入れます。☞図-12




- 1-3 NCCV3.1 をカメラに接続します。☞図-13
片手を添え、アクセサリースューの奥まで確実に差し込みます。

コードが邪魔をしていないか確認します。不確実な接続はストロボが作動しないばかりか、シンクロケーブルやターミナルボックスにより、ボディ合わせ面にすき間を発生させることもあります。



レンズ取り外しボタンの機能を止める

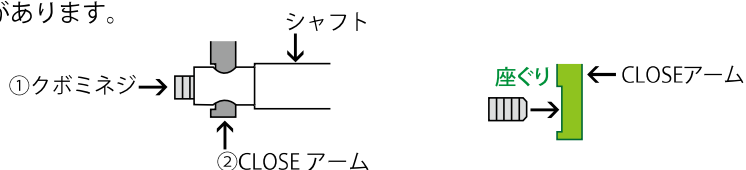
レンズ取り外しボタンのアームが、カメラを出し入れする際の妨げにならないように、必要な場合には機能を止めることができます。アームをレンズ取り外しレバー抜止めピン（本書 P 1 付属品パッケージ内 9.）に交換してください。

 **注意** ピンが無いとレバーが脱落し、防水機能が失われます。

<手順>

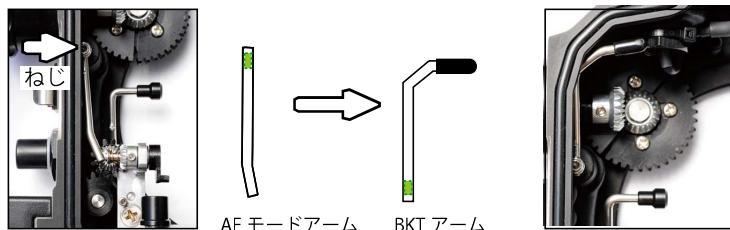
- ①のネジを 2mm の六角レンチでゆるめる。
- ②のアームを抜き取り、ピンを取り付ける。

レンズリリース機能を再開するときは、アームの座グリ（段になった平らな部分）にネジを固定してください。座グリ以外で固定するとゆるむことがあります。



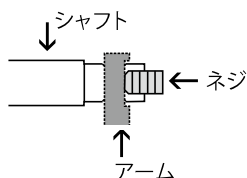
AF モードボタンを BKT ボタンに変更する

AF モードボタンは、アームの交換により BKT ボタンの操作に変更することができます。BKT アームは「別売品」です。



- 1-2 アームの座グリ（段になった平らな部分）にねじを確実に固定します。座グリ以外で固定すると使用しているうちにねじがゆるみ、操作ができなくなります。ねじを締めた後、アームを回す、引っ張るなどしてガタがないことを確認してください。

- 1-3 カメラをセットして正常に作動することを確認します。



a n t h i s

有限会社 アンティス

〒444-2137 愛知県岡崎市藪田 1-16-1

TEL：0564-25-3937

FAX：0564-25-2205

<http://www.anthis.co.jp>

*改善により仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。
*取扱説明書における本文および写真などの無断転載、複製を禁じます。